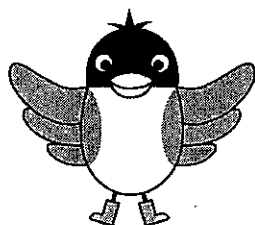


## 地域包括支援センター職員の 資質向上への取り組み

～職員研修、介護予防マップの作成、  
保健師巡回等でバックアップ～



東京都 世田谷区 介護予防課  
安松克昇

## 目次(1)

- ◇ 世田谷区の概要……………4
- ◇ 世田谷区の組織……………5  
地域包括の適正な事業運営を確保するための支援組織
- ◇ 介護予防ケアマネジメントの質の向上にむけて  
……………7  
平成18年度 介護予防ケアマネジメント  
定例会の開催内容(1)(2)  
平成18年度 介護予防サービス事業所定例会  
の開催内容

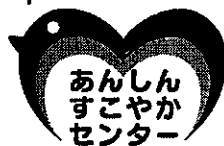
## 目次(2)

- ◇ 全体のスキルアップを図るために(1)(2)……11  
     スキルアップ会議のテーマ
- ◇ 地域づくりを進めていくために(1)(2) ………14
- ◇ 権利擁護に関する業務の力をつけていくために…17
- ◇ 区の政策にかかわっていくために……………18
- ◇ その他の人材育成に関する主なもの…………19
- ◇ 高齢者主体の介護予防のまちづくりをめざして…20

3

## 世田谷区の概要

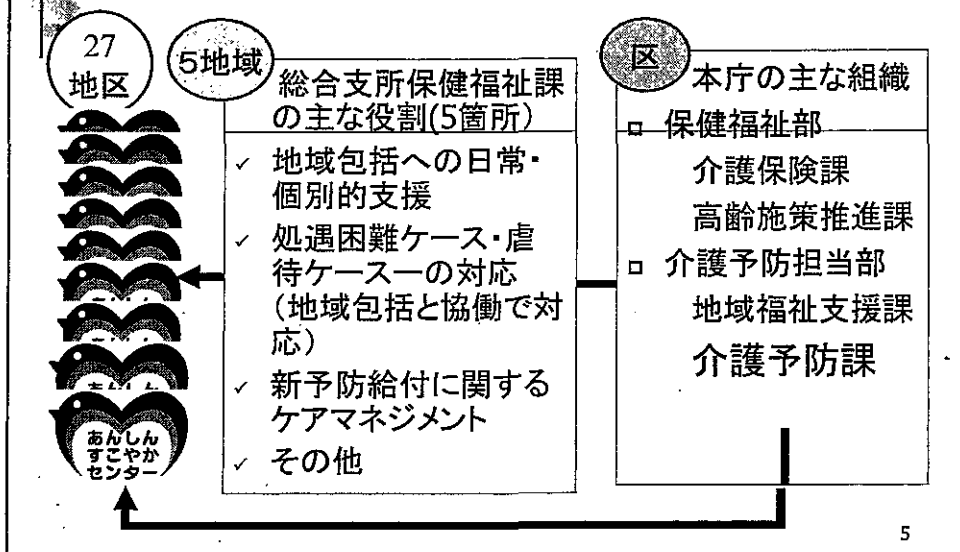
人口	825,355人(H19.8.1現在)
65歳以上人口	145,787人(H19.8.1現在)
高齢化率	17.7%
65歳以上要介護(要支援) 認定者数(出現率)	26,565人(18.2%) (H19.6月末現在)
地域包括支援センター数	27箇所(12法人委託)
職員数(H19.8月末現在)	113人(社会福祉士40人、主任ケアマネ27人、保健師等30人、その他16名)



4

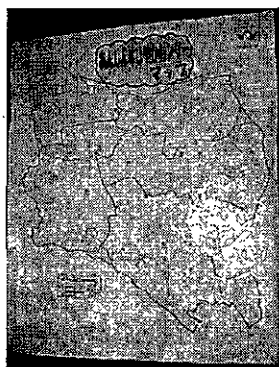
# 世田谷区の組織

～地域包括の適正な事業運営を確保するための支援組織～



## 参考資料

- ◆ あんしんすこやかセンターマップ(あんすこと出張所)



- ◆ 介護予防事業の実施場所マップ

- ◆ 5地域別の医療機関マップ(あんすこと医療機関)



- ◆ あんすこのポケット(27地区ごとの介護予防マップ)

## 介護予防ケアマネジメントの 質の向上にむけて

18年度は、介護予防に関する基礎知識の習得、  
介護予防の考え方の定着を目指しました。



(1) 介護予防ケアマネジメント定例会

(2) 介護予防サービス事業所との連携

事業者と顔の見える関係がつかれるように定期的に介護予  
防サービス事業者の定例会と合同で開催

7

### 参考資料 平成18年度 介護予防ケアマネジメント 定例会の開催内容(1)

開催日	テーマ	内容	講師
4/27	顔合わせ・意見交換	介護予防事業の流れ	
5/25	地域包括支援センター における地区診断	・地域を知ること ・社会資源について	大学教授 地域看護学
6/28	高齢期の心理と自己実 現	・高齢者を知る ・意欲を高める行動変容	看護大学 助教授
7/25	排泄ケアのアセスメント	・排泄ケアの基礎知識 ・アセスメントからケアプラン	株式会社理 事 保健師
8/21	地域支援事業における 連携(事例を通して考え る)	・事例検討 ・グループ討議	研究所 理学療法士
9/25	低栄養改善プログラム	・低栄養に関する基礎知識 ・低栄養改善プログラム	研究所 栄養士

8

参考資料 平成18年度 介護予防ケアマネジメント  
定例会の開催内容(2)

開催日	テーマ	内容	講師
10/30	対人援助におけるコミュニケーションスキル	ヘルスコミュニケーションの考え方と基本技術	人材育成機関 スペシャリスト
11/27	あんすこのポケット(介護予防)発表会	・地区診断の意義と活用 ・健康課題の整理	大学教授 地域看護学
12/12	介護予防マネジメントの評価	・医療保険サービスの質・有効性評価	大学 研究者・医師
1/22	高齢期の閉じこもりと意欲低下	・閉じこもりケースへの対応 ・意欲低下と活動性の低下	研究所 ヘルスプロモーション医師
3/13	平成18年度介護予防事業報告会	区、地域包括支援センター、事業所からの報告	

9

参考資料 平成18年度介護予防サービス事業所定例会の開催内容

開催日	テーマ	内容	講師
4/27	(介護予防ケアマネジメント定例会と合同開催)		
5/16	運動プログラムの実際と評価	・個別プランの立て方 ・体力テスト実技指導	研究所研究員 理学療法士
6/28	(介護予防ケアマネジメント定例会と合同開催)		
7/11	認知症予防の基礎知識	・認知症の基礎知識と対応 ・予防プログラムについて	研究所研究員 心理
8/21	(介護予防ケアマネジメント定例会と合同開催)		
9/25	(介護予防ケアマネジメント定例会と合同開催)		
10/16	高齢者の行動変容 意欲を高めるアプローチ	サービス利用者への行動変容を促す関わり方	大学助教授 スポーツ科学
11/14	口腔機能向上の基礎知識	口腔機能および口腔機能向上の基礎知識	歯科医師
12/12	(介護予防ケアマネジメント定例会と合同開催)		
1/9	高齢者のフットケア	介護予防における高齢者のフットケア	研究所研究員 形質人類学
2/15	平成18年度の振り返り	プログラム実施のまとめ	
3/13	(介護予防ケアマネジメント定例会と合同開催)		

10

## 全体のスキルアップを図るために(1)

### 職員のスキル向上を目的に 区が主催するスキルアップ会議

- ①目的 面接技術やコミュニケーションスキルの向上、介護予防のための地区診断、認知症予防など、主として職員のスキル向上を目的に開催
- ②内容 (参考資料)

11

#### 参考資料

### スキルアップ会議のテーマ

開催日	テーマ	内容	講師
4/24	もっと知ろう地域の活動	・高齢者クラブの活動 ・区民の認知症予防の活動	区民
5/29	相談面接技術・基礎編	(3月に続く連続講座の2回)	大学教授
6/26	相談面接技術(まとめ)	相談面接技術のまとめ	大学教授
7/5	口腔機能向上と介護予防	口腔機能向上について	歯科医師
7/30	認知症予防の進め方	グループ活動の疑似体験	NPO
8/9	行動変容の理論と生活改善	意欲を高めるアプローチ	助教授

9月以降、介護予防のための地区診断、ネットワーク構築に向けた地域づくり等を学び、質の向上を図っていく予定。

また、対人援助技術のスキル向上を19年度のテーマとして、コミュニケーション技術に関する講座を開催予定(月1回計6回)

12

## 全体のスキルアップを図るために(2)

### あんしんすこやかセンター職員(世話人)の 企画・運営によるスキルアップ会議

- ①目的 主としてあんしんすこやかセンター全体の連携の強化、情報共有を目的。また、先駆的取り組みや工夫した取り組みなどを共有し、全体の宝にする。
- ②内容
  - 第1回(19年6月) 各地区の「地区包括ケア会議」を議題に、事例発表やグループワークを実施
  - 第2回(19年9月) 新予防給付をテーマに実施
  - その他ケアマネ支援をテーマに、計年4回予定

13

## 地域づくりを進めていくために(1)

### そのステップとして、あんすこのポケット

地域の中で問題が起きても、それを地域で解決できるような「地域力」をつける。

具体的に進め方は？

- 第1段階 地域を知る。地域に親しむ。  
人材育成を図る。  
地域診断の手法と社会資源マップづくり  
(あんすこのポケット・介護予防マップ)  
⇒総合相談等にも活用
- 第2段階 地域に働きかける  
地域づくり評価モデル事業

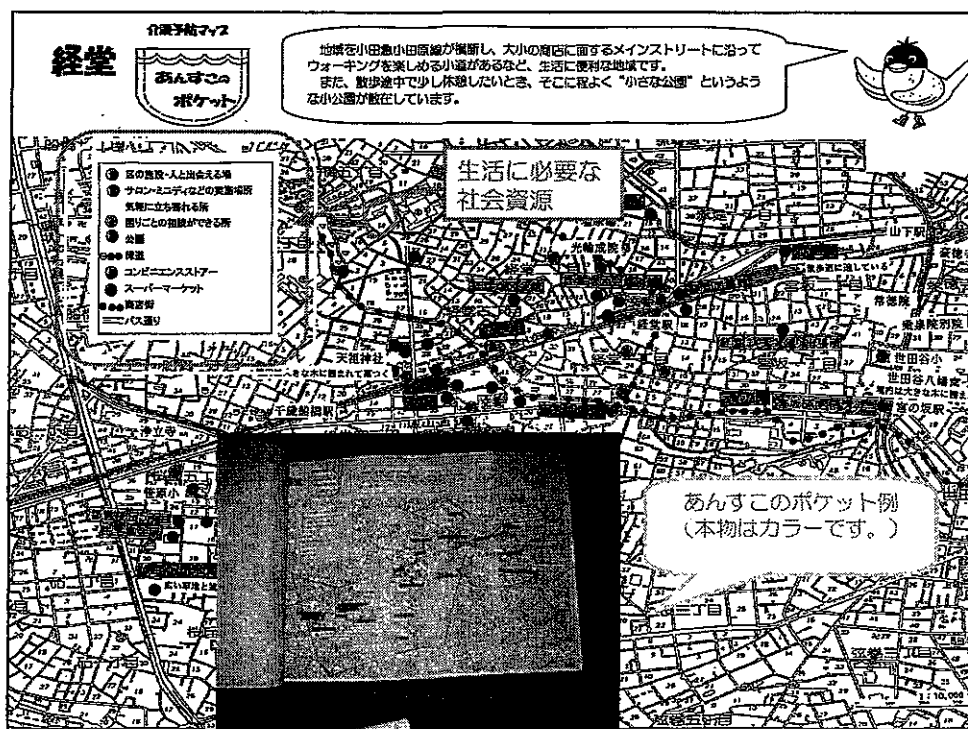
14

## 地域づくりを進めていくために(2)

あんすこのポケット(介護予防マップ)の目的

- ①高齢者が元気で、地域で生活していくために既存の社会資源を整理し、未整理の資源を知ることによって地域づくりに生かす。
- ②介護予防ケアマネジメントに際し、生活に根ざしたプラン作成に有効活用する。
- ③介護予防マップの作成を通じ、あんしんすこやかセンター職員の人材育成を図る。

15





## 権利擁護に関する業務の 力をつけていくために

あんしんすこやかセンター・成年後見支援センター  
連絡会を設置しています。

- ①目的 世田谷区成年後見支援センターと権利擁護、成年後見制度に関する利用支援を連携して行うため。
- ②メンバー  
27の地域包括支援センター(社会福祉士を対象)  
世田谷区成年後見支援センター・権利擁護センター、  
区(地域福祉支援課、介護予防課、5地域保健福祉課)
- ③今年度の目標 主とし、具体的な事例検討を通じて、業務への理解を深めていく。(年間4回予定)

17

## 区の施策にかかわっていくために

区の検討会にも積極的に参加しています。

- 高齢者虐待防止対策担当者会
  - ①目的 地域における高齢者虐待対策のあり方を検討
  - ②メンバー 区14人、地域包括13人、社協1人、事務局
  - ③今年度の目標 事業者向けアンケートの実施、ケアマネやヘルパー向け研修、事例集の作成等
- 孤独死対策検討会
  - ①目的 孤独死対策についての検討会
  - ②メンバー 区6人、地域包括12人、社協1人、事務局
  - ③今年度の目標 ハイリスク層の把握、地域活動との連携等

18

